

生かしてます あなたの税

個性あふれる豊かな市民文化づくり

市では、歴史や伝統、文化を理解する上で重要な文化遺産の保存活用を図り、市民の文化的向上に資するため指定の文化財所有者等に補助金を交付しています。

平成14年度の補助金は、有形文化財19件、記念物2件、民俗文化財継承6団体に交付しています。

八潮市指定文化財は、教育委員会発行の「八潮市の文化財ガイド」に収録されています。

このうち今回は、建造物、古墳を表2に掲載しましたので、お近くの文化遺産を訪ねてみてください。

表1 指定文化財補助金の概要 (単位:千円)

	管理交付金	後継者育成助成金	合計
平成10年度	110	180	290
平成11年度	115	180	295
平成12年度	110	300	410
平成13年度	110	360	470
平成14年度	110	360	470

表2

名称	所在地	所有者(管理者)
清勝院山門	八條1763	清勝院
和井田家住宅・長屋門・屋敷地	八條1377	和井田泰之
太田家住宅・蔵	八條3583	太田與理子
八條殿社古墳	八條4067-2	八條八幡神社
幸田一族の墓域	中央3-19-2	妙光寺
鶏嶋塚	中央3-21-15	濱野昭
旧藤波家住宅	南後谷763-50	八潮市(資料館)



和井田家住宅

生涯学習・まちづくりQ&A

共同調理・大皿盛り方式で食事を提供

Q 八潮市では選挙の皆さんを民泊で迎えるようですが、民泊した選挙の食事はどうするのですか。民泊家庭で調理し食事を提供するのですか。

A 本市へは、成年男子・少年男子の合計40チーム約700人の選手が訪れ、その選手・監督を民泊により受け入れます。市実行委員会では、一昨年から町会・自治会を通じ説明会を行ってきましたが、当初、一般的な共同民泊として、泊まりは各家庭でお願いし、食事は各町会・自治会の会館で調理をして、そこで食事の提供が



その結果、市内を9つのブロックに分け、現在ある市の公民館や小回すつ行います。現在、各町会・自治会では調理スタッフを募集しています。特別、難しい献立ではありません。ぜひ、お気軽に町会等にお申し出いただき、全国から集まる選手の方々に、まごころを込めた食事の提供にご協力していただきたいと思ひます。

③ 国体推進課 ☎881

来ないものかと考えてきました。しかし、町会・自治会ごとに行つた場合には、調理スタッフや設備の問題などで大きな課題があることから、多くの皆さんのご意見を伺いながら、少しでも民泊に携わる皆さんの負担が、軽くなる方法を検討してきました。

中学校の調理室などを活用し、複数の町会・自治会の皆さんが合同で調理を行うことにしました。さらに、少しでも負担を軽くする方法として、従来にはない、「大皿盛り方式」で食事を提供することにより、盛り付けや後片付けの手間を大幅に省くようにします。

今後、調理講習会を各ブロックごとに3月から10月上旬まで毎月1

回ずつ行います。現在、各町会・自治会では調理スタッフを募集しています。

こころ教育委員会

まちづくりを推進するための人材育成

やしお市民大学

やしお市民大学は、住民と行政の協働するまちづくりを推進するための人材育成および、生涯学習宣言都市にふさわしい学習内容を市民の皆さんに提供することを目的に設立し、昨年6月14日に開校しました。多くの市民の方から入学申込みがあり、抽選で選ばれた35名の第一期生が入学しています。



授業の様子

今年度30回計画している授業のうち、現在までに28回の授業が終了しました。授業は、やしお生涯学習館、八潮メッセを主たる会場とし、内容は、「教養を高める」、「まちを知る」および「まちづくりの主役になる」の三つの分野に分かれています。多彩な授業のため、講師は、大学教授、医師、弁護士、ジャーナリスト、県市職員等が担当しています。

学生35名の内訳は、男性13名、女性22名となっており、年齢は30代から70代まで、また職業もそれぞれ異なるなど、バラエティに富んでおり、平均年齢は56歳となっています。学生は、意欲的かつ真摯に授業に臨んでおり、学習した成果を生かして、今後、本市のまちづくりに、大いに活躍していただけるものと期待されています。

やしお市民大学は2年制で、現在の第一期生は、平成16年4月から2年生になりますが、平成16年度には、新たに第二期生を募集することになっています。

なお、やしお市民大学では、学生以外の一般市民の方も参加できる公開講座を年間3回開催しますので、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。

④ 社会教育課 ☎365・397

パソコン知識

自宅で簡単に高収入!?

ウマイ話にご用心!

不況を背景に於てか、主婦や家を空けられない人をターゲットにした内職商法の被害が急増しています。

(相談事例)

新聞の折り込み広告を見て電話し、在宅内職の契約をした。『パソコンを使った仕事で3〜5万円の収入可能。資格を取れば8〜16万円。』と書かれていたので、パソコン教材も契約。しかし、実際には年間4回の仕事しかなく、2万3875円にしかならない。パソコンレッスンセットや技能検定用学習教材の支払いが約89万円と高額であり、クレジットカードを組み支払いを続けている。ほとんど収入が無いので、ローンが払え

ない。広告や説明と全く違うので、解約したい。

交付しなければなりません。この書面を十分確認してから、契約することが大切です。

この事例の場合は、契約書に20日間のクーリング・オフの告知があったことや不適切な勧誘行為があったことから解約に至りました。

「高収入!」「簡単に仕事!」などの言葉に惑わされそうですが、仕事を始めるに当たり、教材購入や会費など何らかの負担を求める契約には、十分注意を払うことが必要です。おかしいと思ったら、契約前に最寄りの消費生活相談窓口にご相談ください。

(お答えします)
この事例は「業務提供誘引販売取引」といい、次のように定義されています。

- ① その仕事を行うのに、必要な物品等を販売する。
- ② 販売した物品等を利用した仕事を提供するので、収入が得られると誘引する。
- ③ 物品等の対価や登録料などの金銭負担をさせる。

この取引を行う事業者は、契約の前に事業の概要(住所・氏名、契約の解除条件、仕事に関する重要事項、物品の代金等)を書いた書面を

⑤ 商工振興課 ☎336、県消費生活支援センター春日部 ☎048173410999

BOOKS

図書館だより

八幡 ☎995-6215
八條 ☎994-5500

図書館で実施している事業を紹介いたします。

子育て支援0歳児ファーストブック事業

自分が赤ちゃんの時に、初めて出会った絵本なんて、誰も覚えていないものです。

しかし、絵本との出会いは、小さな心の中に、大きな感動をもたらすものです。たとえ思い出せなくても、それはずっと生き続け、私たちの心を豊かにしてくれます。

図書館ではそんな願いを込めて、保健センターへ予防接種を受けに来た0歳児を対象に、絵本の読み聞かせを行っています。

赤ちゃんが、本に興味を示すことをお母さんやお父さんにも発見してもらい、家庭の中でも絵本による親子の心の触れ合いを楽しんでもらいたいと思ひ進めているのが、この「子育て支援0歳児ファーストブック事業」です。



■ 八幡図書館のお休み
3月8日(月)・12日(金)、3月31日(水)

■ 八條図書館のお休み
3月15日(月)・19日(金)、3月31日(水)